

## インターバンクの声（2014年12月22日）

今週のカレンダーを見ると、日本は明日23日が天皇誕生日の祝日だが、欧米を中心に多くの国々はキリストの生誕を祝って25日がクリスマス祝日となる。翌日26日、米国は祝日ではないが、英国やカナダなどを中心にボクシング・デーと呼ばれる祝日が続いて連休となる国々も多く、本来はお休みでないはずのニューヨーク市場でもお休みを取ってしまう人が多い。そうすると、今週に市場が普通に動くのは水曜日までとなる。金曜日にもニューヨーク・ダウが上昇し始めてからドルも買われたが、ダウが再度下げ始めてからの為替市場の値動きは急に緩やかになってしまった。どうも欧米の市場参加者の多くは、既にクリスマス休暇モードに入ってしまったようだ。ドル円が120円まであともう少しのところだが、12月の上旬に既に122円近くまで上昇していることを考えれば、特別に意識されることもないだろう。やはり引き続き注意しなくてはいけないのが、流動性の薄さから来る突然の大きな変化になりそうだ。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。